

# Novartis Foundation (Japan) for the Promotion of Science

Telephone: 03-5414-5765  
5F Ginreil Bld., 7-8-4, Roppongi Minato-ku, Tokyo 106-0032, Japan Fax: 03-3796-8271

2002年2月14日

報道関係者各位

財団法人 ノバルティス科学振興財団

2001年度(財)ノバルティス科学振興財団  
研究奨励金および各種助成金贈呈対象者決定

## **助成金総額 5,010万円、贈呈対象者 53名**

財団法人 ノバルティス科学振興財団【所在地：東京都港区六本木、理事長：竹内 郁夫 / 京都大学名誉教授】は、1月29日に開催した理事会および評議員会において、「2001年度研究奨励金および各種助成金贈呈対象者」を決定しましたのでお知らせいたします。

助成プログラム	贈呈対象者	助成金額 / 件	応募件数
研究奨励金	41	100万円	222
日欧研究者交流助成金	2	220万円	2
研究集会助成金	7	50万円	13
特別助成金	3	30～50万円	3
<b>合計</b>	<b>53名</b>	<b>5,010万円</b>	<b>240件</b>

当財団は、1987年の設立以来、生物・生命科学およびそれに関連する化学の領域において、創造的な研究およびそれに携わる研究者間の国際的交流に対し助成を行っております。今年度は、全国の大学や研究機関の学長、学部長、学科長、研究所長など、総数499名に候補者の推薦をお願いいたしました。

2001年度奨励金および各種助成金贈呈対象者リストを別添しましたのでご覧ください。

**2001 年度 (第 15 回)**  
**バルテイス研究奨励金贈呈対象者**

(1件 100万円)

(敬称略、所属職位は申請時を示す)

氏 名	所 属 ・ 職 位	研 究 課 題
たけしま ひろし 竹島 浩	久留米大学 分子生命科学研究所 細胞工学研究部門 教授	興奮性細胞小胞体 $Ca^{2+}$ 放出に関する研究
いちだ ふきこ 市田 蒔子	富山医科薬科大学 医学部 小児科 助教授	左室心筋緻密化障害の臨床遺伝学的研究
おかた かずのり 岡田 憲典	東京学芸大学 教育学部 生物学科 生物学教室 助手	植物のイソプレノイド合成経路におけるゲラニルゲラニルニリン酸合成酵素の多様性の解明と遺伝子発現制御による下流産物生産への影響の検討
しもむら いいちろう 下村 伊一郎	大阪大学大学院 医学研究科 分子制御内科学 リサーチアソシエイト	アディポネクチンの医学応用を目指す研究
つねおか まこと 常岡 誠	久留米大学 医学部法医学 人類遺伝学教室 助教授	癌原遺伝子Mycによる自己貧食誘導に関する研究
やまうえ ひろき 山上 裕機	和歌山県立医科大学 第二外科 教授	消化器癌に対するCre/loxP発現系を用いたCEA産正腫瘍特異的遺伝子治療の開発と癌同所移植モデルによる治療効果の解析
わたなべ まさひこ 渡辺 雅彦	北海道大学大学院 医学研究科 生体構造解析学分野 教授	平行線維と登上線維のシナプス競合原理に基づくプルキンエ細胞回路発達の分子機構
まとざき たかし 的崎 尚	群馬大学 生体調節研究所 附属生理活性物質センター 教授	新しい細胞間シグナリングシステムCD47-SHPS-1系によるシナプス可塑性制御

<p>もりぐち ともひさ 森口 朋尚</p>	<p>群馬大学 工学部 材料工学科 機能物質化学講座 第2研究室 助手</p>	<p>人為的遺伝子発現制御を指向した特異な構造を含む核酸誘導体の選択的認識</p>
<p>さいとう ゆみこ 斎藤 祐見子</p>	<p>埼玉医科大学 薬理学教室 講師</p>	<p>摂食ホルモン（メラニン凝集ホルモン）のシグナル伝達を調整する因子の探索と解析</p>
<p>しおい てつお 塩井 哲雄</p>	<p>京都大学大学院 医学研究科 循環病態学 医員</p>	<p>心臓の大きさを決定するメカニズムの分子生物学的研究</p>
<p>かどわき のりみつ 門脇 則光</p>	<p>京都大学大学院 医学研究科 臨床器官病態学講座 助手</p>	<p>リポソームを用いた菌体成分の腫瘍巣へのターゲティング - 感染免疫とドラッグデリバリーシステムを応用した新規癌免疫療法の開発 -</p>
<p>たなか ひろとし 田中 廣壽</p>	<p>東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 免疫病態分野 助教授</p>	<p>血管新生をコントロールする転写因子ネットワークの解明と疾患治療への応用</p>
<p>たけい のぶゆき 武井 延之</p>	<p>新潟大学 脳研究所 分子神経生物学 助教授</p>	<p>神経栄養因子BDNFによるニューロンの局所的翻訳調節機構の解明</p>
<p>なかじま まこと 中島 誠</p>	<p>北海道大学大学院 薬学研究科 創薬化学講座 薬品製造化学分野 助教授</p>	<p>N-オキシドを配位子とする不斉合成反応の開拓に関する研究</p>
<p>すずき あきら 鈴木 聡</p>	<p>秋田大学 医学部 生化学第二講座 教授</p>	<p>B細胞特異的PTEN欠損によりもたらされる脾臓B細胞の構築と機能障害 - コンディショナルノックアウトマウスを用いて -</p>
<p>いづつ ゆみ 井筒 ゆみ</p>	<p>新潟大学大学院 自然科学研究科 生物圏科学専攻 細胞生物科学大講座 助手</p>	<p>発生過程における組織器官形成への免疫細胞の分子認識機構の役割</p>

ほりぐち やすひこ 堀口 安彦	大阪大学 微生物病研究所 細菌毒素学分野 教授	腸管病原性大腸菌(EPEC)による下痢発症機構 の分子解析
かとう のりひろ 加藤 規弘	国立国際医療センター研究所 遺伝子診断治療開発研究部 部長	モデル動物を用いたmultiple risk factor症候群 の遺伝的基盤の解明
いちのせ あきただ 一瀬 白帝	山形大学 医学部 分子病態学講座 教授	XIII因子欠損マウスは何故自然流産するの か？
ふなばし まこと 船橋 誠	岡山大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経制御学講座 助手	サイクリックヌクレオチド作動性チャネルに よる中枢神経系制御機構に関する神経科学的 研究
いなば としや 稲葉 俊哉	広島大学 原爆放射能医学研究所 分子細胞遺伝学研究分野 教授	白血病関連キメラ因子によるアポトーシス制 御因子Bimの異常発現制御の解析
たなか かつのり 田中 克典	島根大学 生物資源科学部 生命工学科 応用生命工学講座 助教授	ATM様キナーゼによる細胞周期チェックポイ ント制御に関する研究
あらか たかし 荒木 崇	京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻 植物学教室 助教授	シロイヌナズナを用いた花成制御の分子機構 に関する研究
にしもと いくお 西本 征央	慶應義塾大学 医学部 薬理学教室 教授	アルツハイマー病関連神経細胞死を制御す る、既知および新規ペプチド性分子の包括的 研究
たむら おさむ 田村 修	金沢大学 薬学部 薬品合成化学教室 助教授	ニトロンの環化付加反応を用いる含窒素骨格 の立体選択的な構築法の開発

いらい かずひろ 岩井 一宏	大阪市立大学大学院 医学研究科 老年医科学大講座 分子制御分野 教授	酸化修飾を識別するユビキチン修飾系の神経変性疾患への関与
きたがわ まさとし 北川 雅敏	浜松医科大学 医学部 生化学第一講座 教授	癌抑制遺伝子の分解亢進を介した細胞悪性化の分子機構の研究
はらだ あきひろ 原田 彰宏	群馬大学 生体調節研究所調節機構部門 細胞構造分野 教授	ヒトの痴呆症のモデルマウスの作成と神経細胞死のメカニズムの解析
しらい りゅういち 白井 隆一	奈良先端科学技術大学院大学 物質科学教育研究センター 機能物質合成領域 助教授	フォスファチジルイノシトール3、5 - ビスフォスフェートの立体選択的不斉合成
ふかだ まさき 深田 正紀	名古屋大学大学院 医学研究科 細胞情報薬理学講座 助手	低分子量 G 蛋白質 Cdc42, Rac と標的蛋白質 IQGAP1 による細胞極性、細胞運動の制御機構
ふるかわ たかひさ 古川 貴久	(財)大阪バイオサイエンス研究所 第4研究部 部長	脊椎動物の眼の形成を制御する遺伝子群の同定と眼の再生に向けての試み
さいとう なおと 斎藤 直人	信州大学 医学部 整形外科教室 講師	高齢者の骨折を注射で早期に骨癒合させるサイトカイン療法の開発
よしざわ たつや 吉澤 達也	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 口腔生命科学専攻 助手	歯根膜細胞の特性と分化制御機能に関する研究
たけい こうじ 竹居 孝二	岡山大学大学院 医歯学総合研究科 生化学分野 教授	AMPA 受容体エンドサイトーシスを介した隣細胞におけるインシュリンの分泌調節機構

<p>くぼ よしひろ 久保 義弘</p>	<p>東京医科歯科大学大学院 機能協関システム医学 教授</p>	<p>開状態におけるイオンチャネルポアの柔軟性の分子基盤</p>
<p>たなか こういち 田中 光一</p>	<p>東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子神経科学 教授</p>	<p>ハンチントン病におけるグルタミン酸トランスポーター機能異常の関与</p>
<p>いしさが のぶかず 石坂 信和</p>	<p>東京大学医学部附属病院 循環器内科 助手</p>	<p>生体内での骨髄幹細胞からの心、腎組織への分化におけるアンジオテンシンの役割</p>
<p>そのもと けんじ 園元 謙二</p>	<p>九州大学大学院 農学研究院 生物機能科学部門 応用微生物学講座 微生物工学教室 教授</p>	<p>生理活性ペプチドの新たな分子設計をめざしたランチビオティックの生化学研究</p>
<p>もりやま よしのり 森山 芳則</p>	<p>岡山大学大学院 自然科学研究科 生体機能科学専攻 医療薬品体系学 教授</p>	<p>グルタミン酸によるランゲルハンス氏島の内分泌機能制御</p>
<p>ふじもと とよし 藤本 豊士</p>	<p>名古屋大学大学院 医学研究科 分子細胞学分野 教授</p>	<p>ミクロドメインとしての脂肪滴表層の機能に関する研究</p>

**2001 年度  
日欧研究者交流助成金贈呈対象者**

氏 名	所 属	研究テーマ	受け入れ研究機関 及び 指導研究者
パウター・ハーゼンボス (オランダ)	大阪大学 微生物病研究所 ( Post-doc. Researcher )	炎症と免疫反応における G P I アンカーの機能	大阪大学 微生物病研究所 免疫不全疾患研究分野 教授 木下 タロウ
ベアタ・サボー (ハンガリー)	Eotvos Lorand University/Faculty of Science ( Ph.D.Student )	アルツハイマー病脳にお ける蛋白質分解異常	東京大学大学院 総合文化研究科 生命環境科学系 教授 石浦 章一

## 2001年度(第15回) 研究集会助成金贈呈対象集会

(贈呈金額 : 1件 50万円)  
(受付順、敬称略、所属 職位は申請時を示す)

研究集会名	開催期日 (開催地)	助成先代表者	
		所属・職位	氏名
第15回リン化学国際会議	2001 7.29 8.3 (仙台市)	東北大学大学院 理学研究科 化学専攻 教授	よしふじ まさあき 吉藤 正明
第15回国際植物脂質シンポジウム	2002 5.12 5.17 (岡崎市)	岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所 教授	むらた のりお 村田 紀夫
第3回国際バナジウム化学・生物化学シンポジウム	2001 11.26 11.29 (吹田市)	大阪大学大学院 工学研究科物質化学専攻 教授	ひらお としかず 平尾 俊一
第1回蓼科有機化学学会議	2001 11.9 11.11 (茅野市)	京都大学大学院 理学研究科 教授	まるおか けいじ 丸岡 啓二
第2回ポルフィリン及びフタロシアニンに関する国際会議	2002 6.30 7.5 (京都市)	京都大学大学院 理学研究科 教授	おおすが あつひろ 大須賀 篤弘
第8回日本生化学学会CGGHシンポジウム	2001 8.6 8.9 (札幌市)	札幌医科大学 医学部 病理学第一講座 教授	さとう のりゆき 佐藤 昇志
第8回国際細胞共生学会議	2001 10.12 10.17 (名古屋市)	名古屋市立大学大学院 システム自然科学研究科 研究科長・教授	すぎうら まさひろ 杉浦 昌弘

## 2001年度(第8回) 特別助成金贈呈対象課題

(受付順 敬称略、所属職位は申請時を示す)

対象課題又は 研究活動	課題内容又は研究活動の概略	代 表 者		助成金額
		所 属 ・ 職 位	氏 名	
タンパク質の細胞内輸送、糖鎖付加、ヒトの健康に関する国際シンポジウム	本シンポジウムは、1題の特別講演と5セッションより成り、招待講演(17題)と口頭発表(約10題)およびポスター発表を行う。参加予定者は約150人でこのうち日本からの参加者は約20名が予定されている。	大阪大学 医学部 生化学教室 教授	たにくち なおゆき 谷口直之	40万円
「ストレスの植物生化学・分子生物学-熱帯性イモ類とその周辺-」の刊行	熱帯性イモ類を中心に病虫害、機械的傷害、低音傷害など諸ストレスに対する植物組織の応答の実態と機構を生化学的・分子生物学的に研究。その成果を、国内外の他研究者による研究成果も含め刊行(2001年6月下旬刊行)	名古屋大学 名誉教授	うりたに いくぞう 瓜谷郁三	30万円
ビタミンB <sub>6</sub> 、PQQ、カルボニル触媒並びにキノタンパク質に関する第三回国際シンポジウム	反応性が極めて高いビタミンB <sub>6</sub> 補酵素(ピリドキサルリン酸)、ピロキノリンキノン(PQQ)、結合型ピルポイル補酵素、総合型キノン補酵素を含む諸酵素の機能、触媒機構、構造、応用を総合的に対象として研究報告、討論を行って今後の発展を計る国際会議。	大阪医科大学 医化学教室 教授	かがみやま ひろゆき 鏡山 博行	50万円